

健康サポート薬局

第4回…薬局の健康サポート機能を上手に活用

これまで3回は、体調が優れないわたり、かかりつけ薬剤師・薬局の役割、お薬手帳の活用、在宅医療での薬剤師の仕事などを紹介してきました。薬局や薬剤師のイメージというと、医療機関で発行された処方箋を持っていき、調剤してもらう。また

は、体調が優れないときや健康維持のために薬を買いに行くと、そんなイメージを持つ人が多いかもしれません。実は薬局では、処方箋の調剤や市販薬などの販売だけでなく、薬や健康に関する相談会、運動不足解消のためのウォー

キング体験会、認知症の方とその家族が集う情報交換会など、地域住民の方々に対象に、健康づくりを支援する情報発信や交流の場を提供する活動なども行っています。

そのような薬局を推進するため、平成28年から「健康サポ

ート薬局」がスタートしています。「健康サポート薬局」とは、地域住民による健康の保持・増進を積極的に支援する機能を備えた薬局のことです。所定の研修を受けた薬剤師が常駐し、在宅医療の応

栄養摂取に関することなど、健康な生活について幅広く気軽に相談できる薬局だけが「健康サポート薬局」と表示することができません。施設

の規模は関係ありません。

現在、「健康サポート薬局」は本年7月時点で約1000施設とまだ少ないですが、全国で1万5000の「健康サポート薬局」の普及を目指し、多くの薬局が取り組みを進めています。



「健康サポート薬局」の情報は、都道府県のホームページで薬局機能情報として公開されています。インターネット上で「健康サポート薬局」をキーワード

に探すこともできます。また、薬局に日本薬剤師会の作成ロゴマークを掲示しているので、探す際の目安にしてください。

みなさんの街の「健康サポート薬局」を是非ご利用ください。

東京都新宿区
四谷3-3-1
（公）日本薬剤師会
<http://www.nichiya.ku.or.jp/>